

総務常任委員会視察報告書

総務常任委員長 林 美行

1 日 ち	令和2年11月18日(水) 9時30分～11時30分
2 視 察 先	駅北庁舎・本庁舎(防災関係施設)
3 参 加 者	委員長：林 美行 副委員長：奥村孝宏 委員：片山竜美・玉置真一・佐藤信行・若林正人・嶋内九一 副議長：寺島芳枝
4 内 容	駅北庁舎・本庁舎防災関係施設の視察
5 所感、主な内容、提 言事項、課題等	<p>近年、温暖化を原因とする想定外の大雨、暴風が各地で発生するようになりました。また、南海トラフ地震も三連動地震の可能性ということで多治見市でも地盤の悪い箇所では震度6強の揺れが想定されています。</p> <p>議会としても災害対応は喫緊の課題ということで防災をテーマとした。</p> <p>国の防災基本計画及び岐阜県地域防災計画の修正等により、多治見市地域防災計画を修正がなされ、コロナ感染症対応の避難所体制も新たな取り組みが進められている時期であることから、</p> <p>① 多治見市地域防災計画の改正点。の説明。 ② コロナ感染症対応の避難所体制。の説明。 ③ 防災拠点となる災害対策本部 視察。というカリキュラムでした。</p> <p>【所感等】</p> <p>① 南海トラフ地震に関する情報伝達。愛玩動物との同行避難。連絡のためのシステム整備等の国の計画内容の変更及び街頭消火器の取り扱い。ボランティア対策。避難所の変更移管等の市としての整理が中心の改正。への質疑が行われました。</p> <p>・風水害、地震等の発災を想定したシミュレーション(図上演習)を行う事で確認することが効果的であると考えました。</p> <p>② この中に、コロナ感染症に対応する密にならない避難所体制への質疑が行われました。・ここでも、シミュレーション(図上演習)を行う事で避難場所の数、資材の必要数を確認すべきだと考えました。</p> <p>③ 消防本部の対策本部機能の視察はできませんでしたが、2か所の機能を視察。20年程度ごとに更新が必要な給排水、空調等の改修がなされていない本庁舎のぜい弱さ。通信とか映像で全体が把握できる作戦指揮所のような機能がない北庁舎の状態など課題を確認できました。</p>



企画防災課による説明



駅北庁舎屋上



駅北庁舎地下



本庁舎地下

6 写 真 等
※視察の場合は必須、研
修の場合は任意

